

には、リンクがあります。 は、WAMNETの事業者情報にリンクします。

事業所名	グループホームひなぎく
日付	平成18年2月10日
評価機関名	社会福祉法人 岡山県社会福祉協議会
評価調査員	病院での看護業務歴33年(内老人病棟で18年)、家族介護歴7年 特別養護老人ホームでの認知症高齢者介護歴5年
自主評価結果を見る(事業所の自主評価結果にリンクします)	
評価項目の内容を見る(岡山県の定めた評価項目へリンクします)	
事業所のコメントを見る(評価結果に対する事業所の改善状況についてコメントがあります!)	

外部評価の結果

講評
全体を通して(特に良いと思われる点など)
<ul style="list-style-type: none"> ・郊外の見晴らしの良い高台に建てられており、眼下に広がる町並みの夜景を眺めたり、夏には近くの公園で打ち上げられる花火を楽しむこともできます。周辺の自然の木立に、四季折々の変化を感じることができる環境です。 ・全居室が南側に配置されており、日当たりが良く、明るく落ち着いた雰囲気です。 ・屋外、屋内共に、よく整理整頓されていて、清潔感があります。感染症予防にも配慮した環境整備ができています。 ・職員は、入居者を尊重し、落ち着いた穏やかな態度と笑顔で接しています。 ・入居者の今までの体験が、日々の生活に活かされ、入居者一人ひとりが、主体性をもって生活できるように支援が行われています。 ・昨年、「改善の余地がある」とされた会議記録やヒヤリハット報告書などについては、詳細な記録を残すよう改善がなされ、情報の共有化が図られています。 ・体験入所をすることが可能です。
特に改善の余地があると思われる点
<ul style="list-style-type: none"> ・各ユニットの入り口のドアを開閉する度にセンサー音が鳴るようにしてあります。音がホームの雰囲気に相応しくないように感じました。何らかの工夫をしてみたいかがでしょうか。

運営理念

番号	項目	できている	要改善
1	理念の具体化、実現及び共有		
記述項目	グループホームとしてめざしているものは何か。		
<ul style="list-style-type: none"> ・入居者一人ひとりの気持ちを大切に、入居者の立場になって支援をしていきたいと考えています。 ・その時々入居者の状態を理解して、介護の見直し、計画をしています。 ・入居者が、ホームでの生活に生きがいを感じ、快適と感じられるような場の提供をめざしています。 ・家族との連携や地域の方々との交流を大切に、「閉じこもらない生活の支援」を心がけています。 			

生活空間づくり

番号	項目	できている	要改善
2	家庭的な共用空間づくり		
3	入居者一人ひとりにあわせた居室の環境づくり		
4	建物の外周リや空間の活用		
5	場所間違い等の防止策		
記述項目	入居者が落ち着いて生活できるような場づくりとして取り組んでいるものは何か。		
<ul style="list-style-type: none"> ・入居者の生活歴を大切に、プライドを傷つけないような対応を心がけています。 ・今までの生活の延長としての場づくりを心がけ、家にあつたなじみの家具などで環境を整えています。 ・職員となじみの関係をつくり、安心して自分らしく生活していただけるような支援を心がけています。 			

ケアサービス

番号	項目	できている	要改善
6	介護計画への入居者・家族の意見の反映		
7	個別の記録		
8	確実な申し送り・情報伝達		
9	チームケアのための会議		
10	入居者一人ひとりの尊重		
11	職員の穏やかな態度と入居者が感情表現できる働きかけ		
12	入居者のペースの尊重		
13	入居者の自己決定や希望の表出への支援		
14	一人でできることへの配慮		
15	入居者一人ひとりにあわせた調理方法・盛り付けの工夫		
16	食事を楽しむことのできる支援		

ケアサービス(つづき)

番号	項目	できている	要改善
17	排泄パターンに応じた個別の排泄支援		
18	排泄時の不安や羞恥心等への配慮		
19	入居者一人ひとりの入浴可否の見極めと希望にあわせた入浴支援		
20	プライドを大切に整容の支援		
21	安眠の支援		
22	金銭管理と買物の支援		
23	認知症の人の受診に理解と配慮のある医療機関、入院受け入れ医療機関の確保		
24	心身機能の維持		
25	トラブルへの対応		
26	口腔内の清潔保持		
27	身体状態の変化や異常の早期発見・対応		
28	服薬の支援		
29	ホームに閉じこもらない生活の支援		
30	家族の訪問支援		
記述項目	一人ひとりの力と経験の尊重やプライバシーの保護のために取り組んでいるものは何か。		
<ul style="list-style-type: none"> ・入居者一人ひとりの生活歴と経験を尊重し、自分のできることは積極的に参加していただいています。入居者同士が教えあったり、協力し助け合えるよう支援しています。 ・居室への出入りの際には、必ずノックをして了解を得よう、プライバシーの保護に配慮しています。 ・居室の中から施錠ができます。夜間巡回時の開錠、見回りについては、事前に入居者や家族の了解を得ています。 ・面会者の記録は、カード形式に変更しています。 			

運営体制

番号	項目	できている	要改善
31	責任者の協働と職員の意見の反映		
32	家族の意見や要望を引出す働きかけ		
33	家族への日常の様子に関する情報提供		
34	地域との連携と交流促進		
35	ホーム機能の地域への還元		
記述項目	サービスの質の向上に向け、日頃から、また、問題発生を契機として、努力しているものは何か。		
<ul style="list-style-type: none"> ・法人内外の研修に、積極的に参加し、サービスの質の向上が図れるよう、研鑽に努めています。 ・在宅酸素療法や、インシュリン注射についてなど、入居者の状況に応じた内容の勉強会を開催しています。 ・事故発生時には、原因や対策について話し合い、幅広い意見をくみ上げ、再発の予防に努めています。 			